

令和3年度（2021年度）

確定版

比企の川づくり協議会 第20回定時総会 資料

（事業期間：2020年4月1日～2021年3月31日）

	議 案	ページ
I.	令和 2年度 事業報告	……1
II.	令和 2年度 決算報告	……10
III.	令和 3年度 事業計画	……12
IV.	令和 3年度 予算計画	……13
V.	規約改定、役員人事 その他……	14
	1. 規約改定、組織役員改選など	
	1) 規約改定について	
	2) 役員改選について	
	2. 令和3年度（2021年）の各事業の計画など	
	1) 定例打合せ会（実施予定）について	
	2) 第21回 河川見学会（未定）について	
	3) 市民環境プロジェクト等への支援（未定）	

令和 3年 4月 25日（日）

（13：00～17：00）

東松山市民福祉センター 2階C会議室

【住所：埼玉県東松山市松本町1-7-8】

【位置図等：[東松山市社会福祉協議会 \(smile-shakyo.jp\)](http://smile-shakyo.jp)】

I. 令和2年度（2020年度） 事業報告

1. 第20回 【緊急】河川見学会（市野川水系の会イン滑川町との共催）

見学趣旨： 令和2、3年は、新型コロナウイルス感染が拡大し、2回に及び緊急事態宣言が発出される中、集団行動を伴う、イベントや見学会・会議等が多く中止を余儀なくされました。

当協議会が毎年実施してきた「河川見学会」も、個人や少人数での農業用水堰見学や台風被害地の復旧工事を見学・確認してきたが、協議会が主催して集団で現場見学する機会を失っていました。

令和1年台風19号の被害を受けた市野川でも、社会資本整備総合交付金（河川）工事（市野川掘削工その8—工期6月末日）が発注され、吉見町の建設会社等が受注するに至りました。

そこで、年度末ではありますが、滑川町羽尾地区の蛇行河川の土砂堆積被害地や、樹木ナラ枯れ等を見学しながら県の担当者や工事関係者の方々から、蛇行河川の保全計画と、復旧工事の全体計画などを伺い、地元町民や協議会皆で現場協議や意見交換会を実施いたしました。

日時：R3年3月11日（木）午前10:00～約13:00

集合：滑川町羽尾地区 高橋（たかばし・中州）（受付 午前9:45より）

見学場所：市野川蛇行河川（A地区～B～C～D地区）約1.5時間の歩行観察・現場協議

意見交換会：（車にて、移動後）羽尾一区集会所にて、3密を排して！

【詳細は、当日県土整備事務所より配布の「A-3版資料の対象範囲全体図」を参照】

後援・協力：東松山県土整備事務所河川砂防部、^{みらいと}未来都建設(株)

活動経緯の概要

- 埼玉県は、平成2年に河川整備の方針が、「多自然型川づくり」に変わったことから、計画を再検討し、平成8年に環境に配慮した「市野川水辺空間整備計画」を打ち出しました。
- 平成13年設立の「比企の川づくり協議会」と、平成20年設立の「市野川水系の会イン滑川町」では、大きく蛇行する市野川の水辺環境と多様な水生生物の保全と、河畔林内に群生するキツネノカミソリ・イチリンソウ等が咲き誇る自然環境を保全してきました。
- 令和1年台風19号では、入間川水系都幾川・越辺川に大規模な水害（川越市・東松山市）が発生し、国・県による復旧工事が進められました。荒川水系の市野川でも、各所に土砂堆積、堤防の破損、河畔林の流出被害が残ったままで、県管理区間には、毎年国からの補助事業費（社会資本整備費）が計上されています。
- 東松山県土整備事務所ではR2～3年度に、市野川上流の嵐山町から滑川町・東松山市までを、8工区に分離発注・施工し、蛇行河川の羽尾地区は「市野川掘削工その8」として河川改修工事が行われる予定です。



見学箇所①：蛇行河川B地区 土砂掘削予定（県）



②：蛇行河川C地区、約3mの土砂掘削予定（県）



③蛇行河川D地区は健全だが、護岸に一部損壊あり ④羽尾第一集会所での、全体の意見交換会（3.11）

2. 主な関係機関、市民団体、プロジェクト等と協議・意見交換会活動



今年度は、R元年度10月12～13日の台風19号被害が、東松山市や坂戸市・川越市の広範囲な地域で拡大したため、河川改修・復旧工事やボランティア支援活動が続いていたことに加えて、全国的にコロナ禍が蔓延して、4月8日に1都7府県での「緊急事態宣言」が発表され、加えて4月20～5月6日まで特別警戒都道府県・13自治体の中での活動は、ことごとく延期・中止に追い込まれました。

以下に、「3蜜」を伴う活動はほとんど行われなかったが、関係機関ごとにまとめて報告致します。


1) 埼玉県東松山県土整備事務所（河川砂防部）との打合せと協議、活動内容

日時	メンバー	活動内容
—令和2年— 5月28日（木）	県土整備事務所 挨拶 高橋課長、敷樋担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度 河川砂防部 社会資本整備事業の概要 ・河川部長他の人事異動者の連絡
11月14日（土）	東松山県土整備事務所・環境 管理事務所は不参加とした。 <ul style="list-style-type: none"> ・当協議会員12名参加、 ・2ロータリークラブ 約100名参加	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回クリーンアップ作戦協議会の実施 （コロナ禍感染防止のため、3団体のみ参加とし、例年の約1/4の参加者150人の参加者） ・参加団体は、2ロータリークラブ+当協議会。 ・当協議会は、生き物採捕・展示を中止して、「埼玉県秋のプラごみゼロ・ウィーク」に応じて、カナディアン・カヌー等3艇による、船上からのプラごみ回収を実施。
12月19日（木）	県土整備事務所1名 当協議会2名	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急河川見学会（土砂掘削、樹木伐採の予定地）→3月 ・新宿小学校環境学習の為、市野川河川草刈依頼と協議（冬期 水鳥・冬鳥観察—バードウォッチング経路—）
—令和3年— 3月11日（木） // 18日（木）	東松山県土整備事務所 河川砂防部 2名 当協議会+市野川水系の会 in 滑川町+市民など <ul style="list-style-type: none"> ・現場協議11日 計24名 ・意見交換会// 計12名 ・確認会議18日 計4名 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間協働計画（クリーンアップ作戦等）は、実施されず。 ・今年度は市野川の土砂堆積・河畔林繁茂が著しいので、大規模の土砂掘削・河畔林伐採を目的とした、社会資本整備事業による工事予定地を見学会の対象にした。 ・現場協議、意見交換会の様子（11日） 県土整備事務所は、敷樋課長+柿崎技師の参加 意見交換会は、滑川町羽尾第一集会所にて。

2) 埼玉県環境部（水環境課）、（環境政策課）
東松山環境管理事務所（大気・水質担当部）など、

日時	メンバー	活動内容
<p>—令和2年—11月14日（土）</p>  <p>協議会の開会式（4団体のみ）</p>  <p>船上・水面作業からのゴミ拾い（吉見百穴前）</p>		<p>R2年度は、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、県環境部（水環境課・環境政策課など）が企画・実施予定のイベントや講演・集会等の殆どが中止することになった。</p> <p>R元年度の「彩の国埼玉環境大賞の県民部門」で、奨励賞を受賞した「ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会」が主催する、第17回市野川クリーンアップ作戦の規模縮小した計画で実施された。</p> <p>参加団体は、4団体のみで例年の約1/4の参加者で当協議会は比企自然学校と共催し、『埼玉県秋のプラごみゼロウィーク活動』で参加しました。</p> <p>「里地～川～海を連続的に連なる「川のプラごみ」除去を船上・水面から行い、より良い川づくり・地域づくりに取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場所：吉見百穴前 市野川 ・全体参加者：約100名（4団体合計） ・船上作業者：10名（比企自然学校と共済） ・カヌー、カヤック：3艇

3) 東松山農林振興センター（川の国埼玉はつらつプロジェクト活動など）

日時	メンバー	活動内容
<p>—令和2年—</p>  <p>12月19日（土） 都幾川左岸側からの視察</p>		<p>川の国はつらつプロジェクト（農業用水）</p> <p>都幾川矢来用水堰の工事現場 視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林振興センターによる用水堰の工事が、進捗している。

—令和3年—



3月21日 都幾川右岸からの視察（魚道は完成）

矢来堰魚道工事現場 視察

- 用水堰と護床ブロックは、完成形。
- 左岸からの、魚道メンテナンス用階段も完成した。
(プール階段式魚道は、ほぼ完成している。竣工検査は4月下旬に予定。)
- 右岸側の低水護岸は、19号台風被害にて決壊しているため、今後、国交省直轄工事が予定されている。

- 工事は、全体に遅れているものと思われる。
- 新設魚道への通水は、4月上旬に完了。
- 竣工検査は、4月中旬頃（第3週）？



—令和2年3月18日— 農林振興センターにて協議



- 台風19号被害による、矢来堰被害現況、復旧工事と新設魚道整備工事の打合せ（竣工は、R3年5月頃？）。

打合せ参加者：NPO 荒川流域ネット

：比企の川づくり協議会

4) 国土交通省関東地方整備局河川部、荒川上流河川事務所（河川環境課）、河川協力団体関東協議会、（公財）埼玉県生態系保護協会との 協働活動

日時	メンバー	活動内容
—	—	国土交通省、河川協力団体関東協議会による、集会を伴う会議やイベントは、3密回避を目的として悉く中止された。
—令和2年— 4月23日（木） 決定	武州・入間川プロジェクト 活動助成事業の申請 (助成額：160,200円)	<ul style="list-style-type: none"> • 「都幾川散策路マップ検討会議」は、新型コロナウイルスのため、中止となった。 急遽、散策路案内書としての「都幾川自然公園散策路構想報告書」（10ページ）作成に変更した。 →（変更額：34,670円）

5) 比企地域の、NPO法人、関連市民団体との協働活動

日時	参加者・メンバー	活動内容
NPO 荒川流域ネットワーク支援、協力		
3月22日(日)	コロナ感染拡大防止「中止」	第23回荒川流域再生シンポジウム⇒「中止」
6月27日(土)	3名 主催：荒川流域NET	荒川流域一斉水質調査(市野川、都幾川の10箇所)
8月13日(木)	60名 主催：荒川流域NET	荒川流域NETの魚類調査 越辺川・石今橋下流にて
比企自然学校、もりんど、市野川水系の会イン滑川町等の市民団体との 協力、支援、共催		
5月30日(土)	14名 主催：比企自然学校	カヌーツーリング 都幾川遡上(鞍掛橋より月田堰)
7月5日(日)	8名 主催：比企自然学校	入間川本流にて、カヌーツーリング(狭山市昭代橋付近)
8月8日(土)	12名 主催：もりんど	都幾川で川遊びinときがわ町
10月3日(土)	9名 主催：真光正法の会	市野川ハザードマップの「避難施設申請」として見学・内覧会
11月1日(日)	7名 主催：熊環連へ支援	シンポジウムにてテレビ「台風19号被害実態の講演と報告会」
11月7日(土)	12名 主催：比企自然学校	未来を考えるシンポ「ホテルと生物多様性」、現地踏査等
11月23日(月)	4名 主催：比企自然学校	筑波大学院生へ、修論「市民による環境調査」ヒアリング・協力
12月1日(日)	約30名 主催：熊環連	熊環連シンポジウムにて「19号台風被害の堤防溢水と浸水被害」



比企自然学校のカヌーツーリング(都幾川遡行 5.30)

入間川本流(狭山市昭代橋)でカヌーツーリング(7.5)



もりんど主催の川遊び、生き物調査(都幾川 8.8)

東松山市ハザードマップ、避難施設の追加交渉(共助)



未来を考えるシンポ「ホテルと生物多様性」(11.7) 筑波大学院生の修論「市民による環境調査」へ協力(11.23)



熊環連シンポジウムにて「台風19号被害実態の講演と報告会」(12.1)

市民による避難施設の交渉(「共助・近助」の紹介)

6) 東松山市民環境プロジェクト登録事業(学習支援、生き物展示、クリーンアップ作戦など)

日時	参加者・メンバー	活動内容
市民環境プロジェクト運営会議、環境学習、クリーンアップ等など		
7月19日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第2回)、令和2年度総会
8月23日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第4回)
9月13日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第5回)
10月11日(日)	市民環境会議プロジェクト	ZOOMによる市民環境会議の訓練 講師:勝浦教授
10月18日(日)	市民環境会議プロジェクト	ZOOMによる市民推進会議(第6回)
11月8日(日)	市民環境会議プロジェクト	オンライン講習会
11月15日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第7回)
12月13日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第8回)
1月17日(日)	市民環境会議プロジェクト	市民推進会議(第9回)



市民推進会議（第2回）令和2年度総会（7.19）



市民環境プロジェクトの一環

新宿小5・6年生の「飼育委員会等」



飼育委員会（5・6年生）による、ミニ水族館（市野川の生き物）とウサギ小屋の飼育（エサやり）



新宿小 5 年生冬鳥・水鳥バードウォッチング実施
（12.5）

コガモ通信
いちょうの里
市野川でバードウォッチング
新宿小学校

12月10日(木)、環境学習の取組の一つとして、5年生が市野川沿いで冬鳥・水鳥の観察(バードウォッチング)を行いました。
新宿小の周辺を歩きながら、児童たちは環境アドバイザーの皆さんと一緒に花の種や昆虫などを見つけ、鳥が食べる餌などの話を聞いて学びました。
また、市野川の土手沿いへ行くと、ダイサギやコガモ、カワセミなどの野鳥を見つけることができました。児童たちは野鳥の姿を発見すると、双眼鏡をのぞいて、鳥がたたく姿をまじまじと観察していました。

「東松山市広報3月号」にて、紹介（3.1）

7) 事務局の活動記録（事務局参加、運営委員・会員より報告をうけたもの）

期日	活動・イベント・打合せ など 【参加者は、総人数】	協議会々員 【参加者】	比企川協の関わり方			備考 (場所など)
			主催	共催	協力 参加	
第一四半期						
令和2年 4月8日(水)	都道府県(13自治体) 緊急事態宣言発出(4/20~5/6)	—	—	—	—	
11日 (土)	河岸段丘調査 (渡良瀬川 外)	2名	○			渡良瀬川 及び遊水池
19日 (日)	東松山市市民推進委員会 総会出席	1名			○	東松山市立 総合会館
25日 (日)	令和2年度(第19回) 定時総会 【7名】	7名	○			比企自然学校 里山センター
5月9日 (金)	運営委員(会計担当) 引継ぎ 会議	3名			○	比企自然学校 里山センター
20日 (水)	東松山市商工観光課(田島課長外) 社会福祉協議会 立て看板の打合せ	3名	○			市役所 商工観光課 等
28日 (木)	東松山県土整備事務所河川砂防部 永井部長、高橋・敷樋担当課長挨拶	4名	○			東松山県土整備 事務所 会議室
30日 (土)	「鞍掛橋～月田橋」間、水深調査等 自然学校との共催	6名		○		鞍掛清流の郷 力又一船着き場
6月7日 (日)	NPO 荒川流域ネット(第1回予定日) 全国一斉水質調査(中止)	3名			○	都幾川、市野川、 滑川、の10地点
14日 (日)	同上(第2回予定日) (中止)	—	—	—	—	
21日 (日)	東松山市民環境 Proj. 市民環境総会第3回運営会議【10名】	10名			○	東松山市総合会館 4階多目的ホール
28日 (日)	NPO 荒川流域ネット 全国一斉水質調査	3名			○	都幾川、市野川、 滑川、の10地点
第二四半期						
7月5日 (日)	入間川カヌーツーリング 昭代橋周辺(田島屋堰～上奥富堰)	9名			○	比企自然学校主催
9日 (木)	新宿小学校4年生環境学習 ビデオインタビュー(撮影)	1名	○			市野川の地理、生 物、環境の学習
10日 (金)	令和2年度ふれあい市野川クリーア ップ作戦の打合せ(4団体のみ)	4名	○			県土整備事務所 会議室
19日 (日)	市民環境会議 運営会議(第2回目) 令和2年度 総会	約15名			○	市役所合同庁舎 4階
30日 (木)	県土整備事務所 高橋担当課長 市・商工観光課 田島課長 面談	2名	○			稻荷橋の外来種放流 禁止看板の移設の件
8月8日 (土)	もりんど主催「川遊び」へ協力参加 【親子12名】	5名			○	ときがわ町 菖蒲園の蛇行河川
22日 (土)	カナディアン・カヌー初漕ぎ出し 主催：比企自然学校	3名			○	都幾川鞍掛堰上流 カヌー船着き場
23日 (日)	市民環境会議 運営会議(第4回)	12名			○	東松山市合同庁舎 3階
9月13日 (日)	市民環境会議(第5回)	約12名			○	東松山市総合会館 3F 環境保全課

	滑川町（国営）森林公園 めま祭り イベント等（コロナ禍で中止決定）	—	—	—	—	
第三四半期						
10月3日 （土）	真光正法の会 社殿の内覧会 六反町、新宿町、五領町等の自治会	11名		○		ハザードマップの 避難場所の依頼
7日 （水）	ふれあい市野川クリアップ作戦の打合せ 県土整備事務所へ、高水敷草刈りの依頼	1名	○			市野川の浸水痕跡 暫定調査
11日 （日）	ZOOMによる市民推進会議 市民推進会議（第6回）	1名			○	東松山市環境保全 課
11月1日 （日）	熊環連シンポジウムにて講演 「令和元年19号台風被害と復旧」	1名			○	熊谷市民活動セン ター
7日 （土）	未来を考えるシンポジウム「ホタルと 生物多様性」 主催：比企自然学校	13名			○	高坂丘陵市民活動 センター
8日 （日）	市民環境会議（第6回） オンライン講習会	2名			○	自宅にて
15日 （日）	市民環境会議（第7回）	2名			○	東松山市総合会館 3F
23日 （月）	筑波大学大学院生（小原くん）の 修論「市民による環境調査」へ協力	5名			○	比企自然学校 里山センター
12月7日 （月）	新宿小学校特殊化支援授業（5年生） 冬鳥、水鳥のレクチャー	75名	○			新宿小学校 体育館
10日 （木）	市野川冬鳥・水鳥バードウォッチング 自然観察倶楽部2名の応援【61名】	75名	○			市野川吉見百穴 前～城南新宿橋
13日 （日）	市民環境会議（第8回）	2名			○	東松山市総合会館 3F
20日 （日）	リラックス情報交換会 比企流域全般 主催：比企自然学校	9名			○	比企自然学校 里山センター
第四四半期						
令和3年 1月7日(水)	緊急事態宣言発出（1/12～2/7）	—	—	—	—	
17日 （日）	市民環境会議（第9回）	2名			○	東松山市総合会館 3F(参加者12名)
20日 （水）	はつらつプロジェクト 都幾川 矢来堰魚道整備工事（現場）視察	1名	○			矢来堰・魚道 整備工事
2月6日 （土）	ピザ釜ピクニック会 主催：比企自然学校	8名			○	比企自然学校 里山センター
23日 （火）	市野川蛇行河川の土砂堆積被害 市民実態調査（滑川町）、水系の会同行	7名	○			滑川町羽尾地区 蛇行河川、河畔林
3月11日 （木）	第20回【緊急】河川見学会 県土整備事務所、市民との意見交換会	24名	○			滑川町羽尾地区 蛇行河川、集会所
18日 （木）	県土整備事務所 敷樋担当課長と協議 市野川水系の会イン滑川町	3名	○			東松山県土整備 事務所河川砂防部
27日 （土）	2020年度武州・入間川プロジェクト 助成事業「散策路構想報告書」提出	1名	○			埼玉県生態系協 会
31日 （水）	東松山農林振興センター、「矢来堰・魚道整備 工事」の竣工時期確認、中山担当課長 外	3名	○			農林振興センタ ー農村整備部
4月5日(月)	まん延防止等重点措置（4/5～5/5） など	—	—	—	—	

Ⅱ. 令和2年度（2020年度）決算報告書

【一般会計】

＜収入＞

（単位：円）

項目	決算額	備考
1.前年度繰越金	2,553	2,019年度 繰り越し
2.年会費	23,000	1,000円×5名（会員）、2,000円×9名（運営委員）
3.参加費	1,200	河川見学会 100円（保険代・茶代として）×12名
4.雑収入・会員寄付	—	—
収入合計(A)	26,753	【年度当初予算＝30,000円】

＜支出＞

項目	決算額	備考
1.事務費 (資料作成など)	17,475	コピー代 835円、プリンターインク代 4,640円 事務局経費 6,000円×2名
2.通信費（郵送費）	240	切手 240円
3.傷害保険掛け金	0	第20回 河川見学会（無保険）
4.消耗品費	4,088	クリーンアップ作業者の茶代 842円、カヌーからのゴミ 拾い機器 2,476円、額縁 330円 など
5.雑支出	1,836	茶代（24本入り）
支出合計(B)	23,639	【年度当初予算＝25,000円】

＜差引残高＞

項目	決算額	備考
差引残金(A-B)	3,114	【年度当初予算＝5,000円】

差引残金(A-B)3,114円は、次年度に繰り越します。
上記の通り、決算（案）を報告いたします。

2021年4月25日

会計 櫻井 行雄



櫻井運営委員からの一般会計報告に加え、助成金登録事業のプロジェクト執行及び助成金
出納の責任者だった、山本正史氏より、以下の決算報告（特別会計Ⅰ）がありましたので、
追加報告致します。

【特別会計Ⅰ】 一武州・入間川プロジェクト※からの助成金事業決定額※による一

<収入>

項目	予算額	備考
シンポジウム講師謝金	50,000	20,000円×1名(基調講演者) 10,000円×3名(パネリスト)、交通費等
シンポジウム会場費	15,000	公的機関の会場(200人相当)
チラシ印刷代	20,000	A4版カラー両面-1,000部
都幾川散策マップ印刷代B4版	45,000	散策マップ印刷代、B4カラー印刷代
活動記録作成費(コピー代)	20,000	チラシ郵送代など
通信費、打合せ・調整費	10,200	講師との打ち合わせ、荒上・県土整備事務所・市役所との調整
助成金申請額 計	160,200	助成金申請(≦限度額200,000円)
助成金決定額 計(A)	34,670	助成金調整・決定額(ゆうちょ銀行 振込額)

※：新型コロナウイルス蔓延のため、プロジェクトの検討会議・講演等は、急遽に「中止」となった。プロジェクト事務局側と協議の結果、「散策路の写真・案内書」などを作成し、「都幾川自然公園散策路構想報告書」のみを納入することとなった。

<支出>

項目	決算額	備考
1.報告書印刷代(50部)	33,000	都幾川自然公園散策路構想報告書 印刷
2.コピー代	1,670	シンポジウム印刷費、チラシ印刷(1,000枚)
3.武州ガス展示センター報告会	520	駐車料金(25日、31日)
4 交通費(報告者GS代、含む)	3,000	アトレ川越～東松山市
支出合計 計(B)	38,190	

<差引残高>

項目	決算額	備考
差引損金(A-B)	▼3,520	山本正史氏の寄付にて補填

差引損金(A-B) ▼3,520円は、山本正史氏と渡辺仁氏からの寄付金として精算致しました。上記の通り、決算(案)を報告いたします。

2021年4月25日

会計 櫻井 行雄



Ⅲ. 令和3年度（2021 度） 事業計画（案）

2021 年 4 月 8 日に発令された「新型コロナウイルス」による、『緊急事態宣言』に基づき、GW明けの 5 月 6 日（水）までは、当面埼玉県に於いても「不要不急」な外出の自粛、感染防止上の為「3 密」を排除して、集会、イベント、講演などが自粛要請を受けることとなった。

当協議会のこれ迄の恒例の県土整備事務所様との「打合せ協議」や、イベント、事業、見学会等については流動的で、年度事業計画を審議して決定するには、余りにも不確定要素が残った。従って、従来通りの計画立案・提起が困難になりましたので、未定・空欄としておきます。

1. 当協議会主催の活動予定と、協働事業等（未定）

対象：（県土整備事務所、県農林振興センター、県環境管理事務所 等）

期日	活動・イベント名	活動場所
5 月末までに	県土整備事務所河川砂防部との「第 1 回打合せ」予約中	東松山県土整備事務所
?		

2. 「埼河連」※との協働事業（川の再生地域交流会 年間計画は未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
R3 年 2 月（第 1 土）	水環境課主催「川の再生交流会」は、中止	さいたま市民開館うらわ

3. NPO 荒川流域ネットワークへの共催、協力（未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
4 月 30 日 or 5 / 1	標識稚アユの放流作業⇒ 天候状態による	都幾川矢来堰（東松山市）

4. 比企自然学校、もりんど等への協力・参加（未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
5 月 1 日（土）	比企自然学校、カヌー・ピクニック⇒ 中止	東松山市、くらかけ清流の郷
8 月 7 日（土）	もりんど、都幾川にて川遊び	ときがわ町、菖蒲園の蛇行河川

5. 市野川水系の会イン滑川町への協力・参加（代表活動を表示）（未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
	未決定	

6. 東松山市民環境プロジェクトへの参加（未定）【特別会計Ⅰにて決算予定】

期日	活動・交流会名	活動場所
	未決定	

7. シンポジウム等の開催（未定）

【特別会計Ⅱにて決算予定】

期日	活動・交流会名	活動場所

IV. 令和3年度（2021年度）予算計画

【一般会計】

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1.前年度繰越金	3,114	
2.年会費 ※	22,000	1,000円×6名(会員)、2,000円×8名(運営委員)
3.参加費	2,000	100円×20名 保険・資料代等
4.雑収入	3,000	寄付等
収入合計(A)	30,114	

<支出>

項目	予算額	備考
1.事務費 (資料作成・他)	17,000	コピー等 5,000円、 事務局経費(6,000円×2名)等
2.通信費	6,000	はがき、切手、宅配便代等
3.傷害保険代	1,000	1,000円×1回
4.消耗品費	4,000	資材
5.雑支出	2,000	会議費等
支出合計(B)	30,000	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	114	

上記の通り、一般会計上の予算案を、報告いたします。

2021年4月25日 会計 櫻井行雄



【特別会計Ⅰ～?】は、企画や助成金が確定していない為、予算化出来ません。プロジェクト助成事業等が採択され、実施完了後に報告するものとしてします。

V. 規約改定及び役員人事 その他 について

1. 規約の改定について（※朱色表示は、改定箇所を示したものです。）

当協議会も発足後 20 年を迎え、組織運営に関わった方々の高齢化・活動者の交代が続き、尚かつ病症も加わり、組織運営にも変化・支障が生じてきました。一方で、世代交代が進まないまま、令和元年からの新型コロナウイルス感染拡大も長引いて、規約にある「持続可能な地域社会の形成＝SDGs」も一進一退の状態が続いております。

以上の理由から、組織や運営の規約も、3 度目の改定を致したく、以下に改定案を提案いたしますので、ご承認をお願いする次第です。

【比企の川づくり協議会 規約】

《改定の経緯：平成 13 年 2 月 24 日 承認 / 平成 14 年 2 月 23 日 改定 / 平成 15 年 4 月 19 日 改定》

第 1 条（名 称）

本会の名称は、「比企の川づくり協議会」とする。

第 2 条（目 的）

本会は、比企流域を対象として、流域の住民、河川管理者、流域市町村などとのパートナーシップを構築し、相互の活動状況や現地の実情の正しい理解を通じて、比企地域の自然と文化に根ざした、持続可能な地域社会の形成に資する川づくりの実現に向けた活動を行うことを目的とする。

第 3 条（活動エリア）

本会の主な活動エリアは、比企郡（滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町）、秩父郡（東秩父村）、東松山市とする。

第 4 条（組 織）

本会の組織は、共同代表、運営委員会、事務局等を置く。

第 5 条（運 営）

本会の運営は、総会により決議・承認し、共同代表、運営委員会により行う。

第 6 条（活動方針）

河川は、地域共有の公共財産であることから、本会の運営にあたっては、広く地域住民に関わられた活動を行う。

第 7 条（活動内容）

1. 比企流域の市民（団体）と河川管理者、流域市町村、関係者（事業者、利水関係者等）、学識者等とのパートナーシップの構築を図るため、関係者との連携の下「協議会」又は「流域懇談会等」を開催する。
2. 会計報告、事業報告、事業計画案の協議及び比企流域市民間の相互理解の増進と合意形成に向けた話し合いの場を開催する。
3. 河川管理者等との意見交換会を行なう。
4. 上記を運営するため、適宜、運営委員会を開催する。
5. その他、本会の目的を達成するために必要な活動を行う。

第 8 条（会費）

会費は、会員の年会費 1,000 円、運営委員の年会費 2,000 円として、納入を以て会員とする。会員・委員には、見学会、懇談会、市民の集い等の開催案内を通知する。

なお、運営・活動年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを 1 年度とする。 以上

2. 組織役員（運営委員・事務局）の改選について

R2年度運営体制（運営委員）は会員数 22 名の中から、本会の企画・運営に普段に加わる方々として、以下の 10 名の方が再選・承認されましたので報告致します。

事務局からは、永らく運営委員を引き受けて頂いた山本悦男さんから、運営委員辞任の申し出がありましたので、後任としては、（有）福井建設の社長である福井誠さんを推薦し、就任をお願いしたところ、引き受けて下さるということですので、ご承認願います。

（※朱色表示は、新共同代表・役職・改選者を示したものです。）

R2年度より会計担当者が交代しましたので、協議会名銀行口座等を東松山市内の「ゆうちょ銀行」総合口座に切り替えましたので、再度ご確認ください。

令和3年4月25現在

比企の川づくり協議会 役員（運営委員）名簿（アイウエ順）

No	役職	氏名	住所	備考
1	運営委員	稲田 滋夫	東松山市松山町	市民の森保全クラブ 事務局 岩殿満喫クラブ 代表
2	〃	笹沼 和利	ときがわ町大野	
3	共同代表 財務・会計	櫻井 行雄	東松山市松風台	比企自然学校 代表 丘陵ホテルを守る会 代表、ビオトープ管理士 (県認定) 環境アドバイザー
4	運営委員	白石 祐二	小川町青山	小川町水辺観察会、武蔵漁協監視員
5	〃	澄川 清治	滑川町月輪	市野川水系の会イン滑川町 顧問
6	〃	千葉 茂樹	東松山市旗立台	比企自然学校 顧問、前代表 技術士（水産部門） 一級土木施工管理技士
7	〃	馬場 信一	小川町青山	里山クラブ、小川町水辺観察会 (県認定) 環境アドバイザー
8	〃	福井 誠	吉見町東野	日本河川環境開発(株) 社長 (有) 福井工業 社長
9	共同代表 渉外・企画	山本 正史	東松山市松葉町	埼玉河連 代表理事、 NPO 法人まちづくり楽会 代表理事 (県認定) 環境アドバイザー
10	共同代表 総務・事業	渡辺 仁	東松山市五領町	比企自然学校 会員 技術士（応用理学部門 & 建設環境部門） (県認定) 環境アドバイザー

3. R3 年度（2021 年）の各事業等の計画と未決定など

1) 県土整備事務所との定例打合せ会議（5 月GW明けに、実施予定）

県土整備事務所河川砂防部との第 1 回目打合せを、永井部長を含めて部内調整して戴き、5 月末までに開催が可能かどうかを、GW 明けに調整・連絡することとなった。

（※埼玉県が対象になっている「緊急事態宣言」・「まん延防止等重点措置」の自粛要請や、人流の削減期間の延長影響が、今後の打合せ・会議等にどう影響するのだろうか？）

時間は 15：00～17：00 頃、県土整備事務所内会議室にて開催予定とする。

- ①担当者の自己紹介（永井部長さん、含め、初顔あわせ）
- ②当協議会から、R3 年度定時総会資料の説明「確定版」
- ③県土整備事務所（河川砂防部）の R3 年度事業計画案の説明と質疑応答
- ④各市民団体活動に関わる、支援・協力依頼
- ⑤その他（河川見学会開催地の選定）

2) 第 21 回 河川見学会（未定）

候補地として、

- ①東松山県土整備事務所（河川砂防部）の社会資本整備総合交付金工事（土砂掘削工）（その 1～8）の現況報告（特に、その 8—市野川滑川町羽尾地区—）と、今後の蛇行河川（B、C 区間）の維持・保全について。
- ②同事務所が整備を進めている市野川諏訪堰移設工事（魚道付ラバー転倒堰）について。
- ③東松山農林振興センター（農村整備部）が整備した（R2 年度竣工予定）の、都幾川魚道整備事業（矢来堰）について。

以上の 3 箇所を挙げて計画・実施の方向で考えているが、県土整備事務所河川砂防部の永井部長、本間課長、敷樋課長との初回打合せ（5 月GW明け）以降に調整・決定する。

その他、武州・入間川プロジェクトに採択されてきた「都幾川自然公園散策路構想のための踏査・調査」に切り替えて、運営委員会（企画担当：山本正史さん）に一任することも考えられます。

3) 市民環境プロジェクトの「あつまれ！くらかけっこ！」支援など（未定）

令和元年 19 号台風によって大きな被害を受けた、くらかけ清流の郷では、県・東松山市のご努力により、完全復活して R3 年 4 月～11 月まで営業可能となった。

但し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため利用者数・駐車場の制限をしており、若干の制約（隣のグループと間隔を空けること）もあるようです。

市内の子供たちに呼びかけて、「親子イベント」を開催するかどうかは未定であり、支援活動も未決定となった。

以上